

患者さんの健康と幸せを第一に考え
患者さんと共に喜んでいける“愛情あふれる
アットホームな歯科医院創り”を目指しています。

発行者：いのまた歯科医院



■ 医院からのお知らせ ■

歯科用

CT

当院では、より正確な診査・診断を行い
皆さまに安心・安全に治療を受けていただく為に
この度新しい検査機器「CT」を導入いたしました。

導入しました。

“安心と安全”をあなたへ

①見えなかったものが見える

一般のレントゲンで見えなかった部分が確認できるようになりました。
顎の内部構造や **歯周病の進行度** なども、よりはっきりと見える様
になった事で、患者さまへの分かりやすい説明も可能になりました。

②分からなかったことがわかる

顎や歯だけでなく、上顎洞(鼻の奥)の形態や粘膜の状態、病巣など
を **立体画像で確認** できますので、インプラントの検査や根の治療な
ども活用出来ます。

③治療の安全性が高まる

インプラントはもちろん、矯正や根管治療、親知らずなど、幅広く歯
科治療に応用することができ、**正確な審査・診断**により、治療の安全
性が高くなりました。

画像の比較



従来のX線(パノラマ)画像



CTによる3D画像

ご興味のある方、詳しいお話を
聞いてみたい方は、スタッフ
までお気軽にご相談下さい。



■ 歯科健康情報 一予防のお話一 ■

正しい歯磨きで

むし歯・歯周病予防!

にっこり笑うと、キラッと光るきれいな歯……

口元美人になると、笑顔にも自信がもてるようになりますよね。美しく健康的な歯を保つために、欠かせないのが毎日のケア。でも、間違った方法でケアしては、せっかくの努力も半減してしまいます。知っているようで知らない歯磨きの方法をもう一度確認してみましょう。



間違った歯みがきは効果半減?

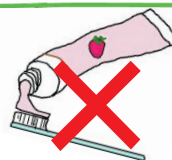
毎日一生懸命歯磨きをしているのににもかかわらず、なぜか虫歯になってしまうという人はいませんか? その原因は、間違った歯磨きにあります。「勘違いしやすい歯磨きの常識」をみていきましょう。

よくある間違い

その① 歯ブラシを濡らしてから 歯磨き剤をつける

歯ブラシを濡らして歯磨きをすると、歯磨き剤が素早く泡立つので、短時間で「磨いた気」になり、汚れや細菌が落ちていないことが多くなります。

その② 歯磨き剤は歯ブラシの上のせて



この方法では、磨き剤が歯の一角所にべっとりついて、歯全体に行きわたりません。歯磨き剤は、指でブラシの毛の中に埋めこむようになじませてから磨きましょう。

その③ 歯磨き後は何度も口をすすぐ

これではせっかく口の中に残った大切なフッ素がすべて流れてしまいます。歯磨き剤のフッ素効果を高めるには、何度も口をすすがないほうがよいのです。